

会議記録

年月日	令和3年11月16日（火） 14:00 から 15:45	担当課	市民と共に考える課
会議名	令和3年度第2回 市民協働のまちづくり推進委員会	場所	常総市役所 市民ホール
<p>《出席者》瀬高委員，原田委員，古矢委員，中莖委員，神達委員，中山委員，岩見委員（会長），土河委員，杉田委員，横島委員 計10名</p> <p>《欠席者》木村委員，松下委員，中島委員，羽富委員，寺田委員， 計5名</p> <p>《事務局》坂野課長，下田尾課長補佐，横島地域組織支援係長，上野市民協働係長，古矢主事</p>			
<p>1. 開 会（14時00分）</p> <p>2. 協議内容の確認</p> <p>3. 議事</p> <p>進行：岩見委員（会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常総市地域コミュニティ基本指針（案）について <ul style="list-style-type: none"> ○【1. 基本指針のレイアウト】および【2. 全体構成】 意見なし ○基本指針大項目－【1 策定にあたって】 <ul style="list-style-type: none"> （瀬高委員）具体的な項目がいくつかあったほうが分かりやすいのではないかと。 （事務局）具体的な項目を示す計画を作る前段であり，方向性や考え方を示すものである。 （中山委員）指針はどこに向けられたものか （事務局）地域をどうにかしようとするものである。 （中山委員）指針を作った後は，どこに行きつくのか。 （事務局）指針を基に市の方向性や考え方を示し，具体的な計画を立てる。その後，庁内整備を行い，地域とどのように話し合いをして課題を洗い出すか，また，協議を行い地域で納得した上で，一体となった地域コミュニティを結成するなどを示していく。 （中山委員）それは分かるが，レイアウトや文字の大きさを変えて見やすくしても伝わらないかと思う。 （事務局）今回は指針案の策定について協議してもらいたい。 （中山委員）進め方について，原案の方向性が多方面に向いているので，ある程度道筋を絞らないと協議できない。 （事務局）指針は「1 策定の意義」，「2 当市の現状」，「3 策定の必要性」，「4 基本的な考え方」とし，「4 基本的な考え方」で方向性を示して，「5 推進体系」として5本の柱を掲げ，「6 まとめ」といった構成となっている。 （中山委員）「2 当市の現況」から協議していけばよいか。 （事務局）そのとおりである。 			

○基本指針大項目－【2市の現況】

(杉田委員) 自治会加入率の表のほかに、子ども会や他の団体の状況もわかる票があってもいいのではないか。

(事務局) 検討し、示すことができるところは次回提示する。

(土河委員) 文字で見てもらうのではなく、グラフを使って見やすくした方が良いのでは。

(事務局) 検討する。

(中山委員) グラフが多い。また、小見出しを多くして、小見出しを見ればある程度分かるようにしたほうが疲れずに読むことができるかと思う。

○基本指針大項目－【3策定の必要性】

意見なし

○基本指針大項目－【4基本的な考え方】

(杉田委員) 「3策定の必要性」と「4基本的な考え方」を示してから、「1指針の意義」と繋げる方が読みやすいのではないか。

(事務局) 他市事例の調査を行い、再度検討する。

○基本指針大項目－【5推進体系】

中項目(1) 地域コミュニティ協議会の設立

(中山委員) 地区コミュニティという言葉がたくさん出てくるが、もっとイメージしやすい言葉があれば良いかと思う。また、地域コミュニティの体系について、部会で横のつながりができる方法を示せば、意見交換しやすくなるのではないか。

(事務局) 名称についても、分かりやすい名称に変更するなど検討したい。体系については、地域単位でどのような体制が良いのか検討していきたい。

(瀬高委員) 地域コミュニティの名称および拠点について、小学校の統廃合が行われた場合はどうするのか。

(事務局) 統廃合については、児童生徒数減少などから今後検討されていくことである。ただ、どの地区で実施されるかはまだ検討されていないが、地域コミュニティの組織化についても、統廃合と同時に検討していく必要があると考える。

(瀬高委員) 地域コミュニティができたあとに、学校が統廃合された場合には、再度考え直すということか。

(事務局) 統廃合を見越して地域に入っていければと考えている。

(土河委員) 地域コミュニティのイメージ図の中に、絵など入れることで目で見て訴えることができるとよいと思う。行政文書ではなく、地域の皆さんが見やすいものになるのではないかと考える。

(事務局) 検討する。

(神達委員) 消防団と地域コミュニティを繋げる意義を教えてください。

(事務局) 地域には消防団のほかにも子ども会などあり、それぞれの役割があるが、団体ごとに行動されていると思う。

(神達委員) 専門性がある団体が、地域コミュニティに入って何ができるのか疑問符であった。自治会の下部組織として消防団、子ども会があるので、さらに地域コミュニティが入ることで何ができるか、市民には伝わらないし、あまり意味がないのではないかと。

(事務局) 地域によって体制が違っていたり、組織の維持が難しいなど課題もさまざまである。専門性のある団体が一体となり、地域の課題に向けて取り組むことで地域を維持でき活性化に繋げる組織が地域コミュニティであると考えている。

(神達委員) 自治会で差が出てくるのは仕方がないと思うが、活性化できているところは、地域コミュニティがなくても維持できるとなってくるのではないかと。

(事務局) 地域に入って、組織化が必要なのかを地域ごとに検討していければと考える。一方的に押し付けることはしない。

(神達委員) 体制に組織化がくると、市民はまた面倒になることがでてくるのではないかと考えてしまう。

(事務局) あくまでイメージとしているので、押し付けるものではない。分かりやすく丁寧に柔らかく説明し、設立ありきではなく何が必要かをお互い協議したうえで考えていきたい。

(中山委員) そもそも丁寧に説明しても伝わらない。地区コミュニティの繋がりからどんなメリットがあるか何を生み出すかをイメージできないと市民には伝わらないのではないかと。地域コミュニティは負担となると考えてしまう。もうちょっと他の地域の例を挙げるなど具体性のある説明が必要である。

(杉田委員) 進める手順の工程表があるとよい。

○基本指針大項目－【5 推進体系】中項目（2）自治会の活性化
意見なし

○基本指針大項目－【5 推進体系】中項目（3）『地区コミュニティ協議会』と自治会の連携
意見なし

○基本指針大項目－【5 推進体系】
中項目（4）『地区コミュニティ協議会』と各種団体の連携
意見なし

○基本指針大項目【5 推進体系】中項目（5）庁内体制の確立
意見なし

○基本指針大項目【6まとめ『地区コミュニティ協議会』設立～今後】

(古矢委員) 水海道地区では祇園祭があり各区長や学校、警察、消防団などが集まり協議をする。地域コミュニティの設立までの流れについて、どう対応するかなどさまざまな区長さんと協議をする場を早めに設けてほしい。

(原田委員) 女性団体としてさまざまな活動しているが、世代を超えた横のつながりをどう進めていくか難しいと感じる。また、若い世代の意見を取り上げられる場があれば、新しい意見を取り入れられるのではないか。

(中莖委員) 子ども会、育成会は、会員減少が課題であり活動ができなくなってきており、コロナ禍においても活動ができていないのが現状である。また、アンケート結果で、各公民館の利用していない数が多いという点で、行く機会がないと難しいのではないかと思う。手遅れかと思うが、子どもの人口が増えるようにする必要がある。

○市民アンケート結果表について

(中山委員) 基本方針について、指針を読んで具体的なイメージができるかが必要である。また、地区コミュニティをサポートすると記載されているが、地区コミュニティへサポートするのではなく、現在の自治会などをサポートするのと変わりが無いのではないかと考える。やはり、地域コミュニティの具体的なメリットなどを示す必要がある。

(事務局) 現在の地域団体が、連携することで新たにできることがある、課題解決に繋がるなどを発見する機会となることから、メリットとなると考える。

(中山委員) そこで、横のつながりが難しいと意見があったので、具体的にどのように解決できるのかまで踏み込まないと伝わらないのではないか。

(事務局) あくまでイメージとして示して地域に入り、どんな体制がよいのかを検討できればと思う。

(土河委員) 行政がかかわらないと、地域づくりができないのかと実感してきた。

(瀬高委員) 地域コミュニティがなぜ必要なのかは、少子高齢化や後継者がいないなどが大きな課題であると考え。それによって結びつきが無くなってきている。そこで、ボランティアなり手をどのように確保するかを考えたほうがよいのではないか。

4. その他

次回開催日および委員報酬について説明

5. 閉会 (15時45分)

以上